



【6月25日(火)「人権集会」で学んだ大切なこと】

庄内小学校では、「一人ひとり、違いを認め合い、互いを大切にし合える仲間づくり」を人権教育目標に掲げ、子どもたちの自尊感情を醸成し、人権問題を正しく認識して行動できる集団の育成に努めています。その一つの取組として、年に1回「人権集会」を開いています。全校の子どもたちが、人権問題に係る課題から選んだ同じテーマを通して学び合うことで、人権意識の向上を図り、日常生活における人に優しい考え方と言動につなげていこうとするものです。今年は「障がい者問題」をテーマに取り上げ、「障がいのある人の人権について理解を深め、共に生きようとする態度を育てる」ことを目指しました。

集会では、この日までにそれぞれの学年でじっくり学んできたことを、他の学年のみんなに知ってもらおうと、工夫を凝らして発表していました。

1年生は、耳の聞こえない、もしくは、聞こえにくい人が、コミュニケーションとして使う「手話」を学び、歌にのせて手話を披露しました。2年生は、障がいのある方や日常生活で困ることのある人が使う「マーク」について学び、「マーク」の意味やそのまわりにいる人の言動について発表しました。3年生は、調べた「マーク」をもとに、バスの乗車時を例に挙げ、困っている人をどう手助けすればよいか、クイズ形式で発表しました。



1年生



2年生



3年生

4年生は、作家・金子みすゞさんの詩「わたしと小鳥と鈴と」にある一節「みんなちがってみんないい」に注目し、どの子にも得意と苦手があって、それぞれに違いがあるけど、それが当たり前でそれでみんないいということを届けました。5年生は、絵本から「目に見えない障がい」について考え、自分事として考えたことやこれからどう行動すべきかを発表しました。6年生は、社会科の発展として「誰でも暮らせるまちづくり」をテーマに、障がいのある人たちの就業問題と社会的支援、いきいきとした日常生活での活動の様子などを発表しました。



4年生



5年生



6年生

各学年の発表が終わった後、その場でふり返りをしました。何人もの子どもたちが、感想や意見をみんなの前で堂々と述べていました。私（校長）からも「素敵な集会を開いてくれてありがとう。」と子どもたちへ感謝の言葉を伝え、「障がいのある人に決めつけた見方や考え方をしているのは、校長先生も含めたまわりの人です。校長先生は、それを当事者の方たちから指摘を受けて気づきました。校長先生は、人を上から見るとか、人を差別するとか、自分の心の中にある差別の心を今もなくしていきたいと頑張っています。『みんながって、みんないい』と思って、自分自身の考え方や行動を見つめ直してください。友だち、家族、地域の方を正しい見方で理解し、その人が本当に困っていることに気づき、助けられる人になってください。そして、素敵な庄内小学校や庄内の町を作ってください。こんな発表ができるみなさんなら、できますよ。」と差別をなくしていくためのメッセージを届けました。

教室に戻った子どもたちは、「誰かが困っている時は、声をかけたい。」「一人ひとりの個性を大切にしたい。」「障がいのある人が人生を楽しめる場があることを知ったので、自分たちもこういう場所を作りたい。」等とふり返りを綴っていました。

今年も子どもたちにとって非常に意義のある人権集会となりました。庄内小学校の子どもたちが、差別をなくし、ぬくもりのある優しい子へとさらに成長するよう、しっかりと支えていきたいと思います。

【6月24日(月)4・5・6年生:「クラブ」が始まりました!】

4・5・6年生は、各学期に1回のクラブ活動があります。今年度の第1回は、6月24日(月)6限目に行われました。グランドゴルフクラブは運動場で行いました。ルールや打ち方などをクラブボランティアの皆さんに教えてもらいながら楽しみました。ご参加とご指導していただきましたクラブボランティアの皆様にご心より御礼申し上げます。卓球クラブは体育館で行いました。初めての子も経験のある子も、一緒に楽しんで活動しました。将棋クラブは教室で行いました。指し方がわかる特別な将棋セットを使って、楽しく対戦しました。プログラミングクラブは理科室で行いました。プログラミング体験を chromebook で取り組みました。



グランドゴルフ



卓球



将棋



プログラミング

【6月28日(金)6年生:「租税教室」】

鈴鹿税務署及び鈴鹿法人会の方にお越しいただき、「租税教室」を受講しました。税金の必要性や税金の仕組みなどについて教えていただきました。6年生の子どもたちは、社会をより良くするために税金が必要であることを学びました。また、子どもたちは、ジュラルミンケースを持たせてもらい、1億円の重さを体験しました。これから社会を担う一員となるための素敵な学びの時間となりました。

